

## 地域づくり提案事業 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 24 年度

市町村名	羽生市					
提案事業名	活力に満ちたまちづくり事業					
事業期間	23 年度		～	23 年度		
成果指標	(成果を検証する指標) 観光客数					
	(成果検証の具体的な方法) 従前のイベントへの入込観光客数と事業実施後の入込観光客数を比較し、増減数を検証する。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A	
	従前値 (23年4月時点)	132,500人	目標値 (24年3月時点)	150,000人	実績値 (24年3月時点)	160,000人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		市のホームページにおいて公表する。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成 年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 観光振興事業	○	羽生市のイメージキャラクターとその仲間たち計7体の着ぐるみを市内の各種イベントで活用し、来場者とのふれあいや写真撮影などを行うことで、着ぐるみを通して羽生市のPRを行った。着ぐるみの登場回数が増加したため、着ぐるみを着る市民ボランティアで「ムジナもん応援団」を組織し、円滑な運営を図った。 羽生産の米や野菜などを使用したスイーツを公募し、市の特徴や個性を生かした新商品を制作・イベントで販売を行った。
② 商工業の振興・活性化事業	○	中心市街地の拠点施設になっている市民プラザを7キャラクターをモチーフにしたイルミネーションで彩り、夜の景観を演出した。イルミネーションをとおして商店街をPRし、集客（経済）効果の向上と地域の活性化を図った。
③ ニュースポーツ推進事業	○	ニュースポーツとしてフロアカーリングの全国大会及び羽生市大会を開催し、キャラクター及びスポーツをとおした地域内外の交流を図った。羽生市を全国に発信・PRすることで観光客の増加を推進した。
④		
⑤		

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	親しみやすいキャラクターをイベントで活用することで、特色あるイベントを開催することができた。イベントへの関心を喚起させ、羽生市に興味を持ってもらい、足を運んでもらうことで交流人口の増加が図られた。 また、キャラクターがマスコミやメディアに大きく取り上げられたことにより、より効果的に羽生市を全国にPRすることができた。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	

(記入上の注意)

**【成果指標の達成状況】**

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値が80%以上の場合

「達成度B」 目標値に対する実績値が60%以上80%未満の場合

「達成度C」 目標値に対する実績値が60%未満の場合

**【事業効果の整理・原因分析】**

・事業効果(○・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果○」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない